

『 50 代女性の頭痛のケース 』

CHhom10 期卒業

JPHMA 認定ホメオパスNo.1113

ZEN メソッド修得認定No.0549

JPHF 認定インナーチャイルドセラピスト NO.0551

塚野 直緒美(つかの なおみ)

【要約】

30 歳頃から辛い頭痛が始まり、20 年以上続いていたクライアントです。

目覚めと共に激しい頭痛に襲われ、毎朝の頭痛薬(市販薬)が離せないで、何とか薬を使わずに頭痛から解放されたいと相談会にいらっしやいました。

3 回の相談会で、頭痛が徐々に改善され、薬に頼らない生活を取り戻しつつあると共に、クライアント自身が本来の自分を取り戻していくケースです。

【クライアント】 50 代 女性 会社員

【主訴】 毎朝の酷い頭痛(時々吐き気を伴う)

(随伴症状) 長年の便秘 睡眠障害 更年期障害



【症状】

- 30 歳の頃から起床時に激しい頭痛があり、毎朝頭痛薬を服用している。
前頭部が輪っかで締め付けられるような痛みで襲われる。痛みで目が覚める時もある。
特に疲れると次の日または 2 日後に吐き気を伴う頭痛が起きる。
- 便秘も日常にあり、マグミット錠を服用すると排便できる。
- 更年期障害によるホットフラッシュも酷くホルモン剤を服用している。
- 熟睡できない。
- 認知症の母親と二人暮らしで、いつまで続くのかと不安。兄にも協力してほしいが迷惑ではないかと気が引けて言えない。

【家族の病歴】

母: C 型肝炎 認知症

父: 昔から肝臓が悪い

兄: B 型肝炎 結婚後アトピー

母母: 脳梗塞

母父: 脳梗塞

父母: 心臓悪かった 肥満

父父: アルコール依存症だった

【タイムライン】

出生時 未熟児(1,600g) 保育器に半年以上入っていた
小学3年生 喘息発症(小学6年生まで)
中学2年生 両親離婚
18歳 就職 便秘と鼻炎発症
24歳 結婚・出産
29歳 離婚
30歳 頭痛発症
45歳 更年期障害(ホットフラッシュ)始まる
57歳 認知症の母親の介護に疲れる日々

【怒り・不満】

母親が認知症で仕事をしながら介護をしているのに、兄はたまに顔を出すくらいで経済的援助も全くしてくれない。妻の言いなりで腹が立つ。しかし、言えない。喧嘩をしたくない。叔母(母親の妹)が母親のことで干渉してくる。

《 レメディー選択 》

1回目 2021/10/25 ※一番つらいと訴えている頭痛に便秘と足の冷えに対して選択
【The Boninghausen Repertory(TBR)】

- 1.#10 前頭部
- 2.#949 外側部分の締め付けられる(締め具や万力で締め付けられるような)痛み
- 3.#1881 人中で悪化
- 4.#386 吐き気
- 5.#420 便の硬さからの便秘
- 6.#1687 朝に悪化
- 7.#298 足のつま先
- 8.#688 外側部分の冷たさ
- 9.#405 鼓脹

| 順位・レメディー名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|-----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① Sep | 4 | 2 | 4 | 3 | 3 | 3 | 4 | 2 | 3 |
| ② Phos | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 4 | 1 | 2 | 4 |
| ③ Sulf | 4 | 1 | 2 | 4 | 3 | 2 | | 2 | 3 |

随時:MT) サポート肝臓 + Adren-c-m-C 30C

朝:Bar-c. LM01

昼:Bac. LM02

夜:Ambr. LM03

【レメディー選択の根拠】

サポート肝臓・・・ 家系的に肝臓が悪い 怒りを溜めている 右側に不調が出やすい

Adren-c-m-C(アドレナリルコンビ)・・・ 自律神経 イライラしやすい

Bar-c.(炭酸バリウム)・・・ 家庭内の問題について不安 便が固く十分に排出できない
抗疥癬レメディー

Bac(人の肺結核ノゾーズ)・・・ 結核マヤズム傾向 平和主義

Ambr. (龍涎香)・・・ 毎朝の頭痛 便秘 抗疥癬レメディー

【経過報告】

・頭痛・・・・・・・少し改善 痛む回数が減少し、痛み度合いも酸くなってきた。

頭痛薬(市販薬)を適用量とると具合が悪くなるようになったので、クライ
アント自身の判断で、時々、減らして服用している。

・便秘・・・・・・・変化なし

・睡眠障害・・・・寝つきの悪さ、肩こりが出てきた。

・夜間尿・・・・・・・夜中にトイレに起きる。仕事中のトイレが増えた。

・新たな症状・・・右肩に凝りがでてきた

2 回目 2022/1/14

初回の相談会では、自分の気持ちを話さないというよりはわからないといった感じだったが、2 回目の相談会では自ら語るようになってきた。(努力を見られたくない、見せない。嫌な事は言わない。両親が離婚した時、悲しかった。兄は泣いていたが、自分がしっかりしなくてとは泣かなかった。結婚生活は辛かった。元夫にはイライラしていたが、何も言わずに我慢していた。)

【The Boninghausen Repertory(TBR)】

※引き続き頭痛と肩こり、便秘も含め、静かな怒りに対して選択

1.#18 前頭部

2.#1054 圧するような痛み

3.#1687 朝に悪化

4.#836 不眠全般

- 5.#256 肩部(三角筋)
- 6.#905 右側
- 7.#1067 硬直(凝り、凝り固まり、固定[ギプスをしたように])
- 8.#448 頻繁な排尿
- 9.#420 便の硬さから便秘

| 順位・レメディー名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|-----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① Bry | 3 | 2 | 2 | 4 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② Bell | 4 | 3 | 2 | 3 | 3 | 1 | 3 | 2 | 2 |
| ③ Kali-c | 3 | 2 | 3 | 4 | 4 | 1 | 1 | 3 | 3 |

随時:MT)サポート胆嚢 + Mag-m.12 + Osm.12X + Senjyo-w.30C + Chlor.6C
 朝:Sulf LM02
 昼:Tub-k LM03
 夜:Bry LM04

【レメディー選択の根拠】

サポート胆嚢・・・ 怒りを耐えている 偏頭痛 消化が下手

Mag-m.(酸化マグネシウム)・・・ 衝突を嫌い平和主義 前頭葉 額内部が裂けるような痛み) 十分眠れなかったような感覚

Osm.(オスミウム)・・・ 責任感が強い ストレスとプレッシャーを忍耐と辛抱で乗り越える すっきりしない睡眠

Senjyo-w.(仙丈ヶ岳水)・・・ 愛されたいという気持ちを緩められる 自己評価向上させる 効果

Chlor.(塩素水)・・・ 母親からの保護が少なかった 保育器に入っていた

Sulf(硫黄)・・・ 酸欠 抗疥癬介入レメディー

Tub(人の結核菌ノゾーズ)・・・ 結核マヤズム傾向 平和主義

Bry(ブリオニア)・・・ ナス科=紫色=第7チャクラ(脳神経) 緊張下にいる 頭痛 肝臓

【経過報告】

2022/3/3 頭痛があまり緩和されないが、気分は前向き。頭痛薬で体調不良になる。

【頭痛の頓服にレメディー追加】

Bry.200C+Nux-v.200C のコンビネーション(砂糖玉) + Anac30C+Mag-c.200C のコンビネーション(砂糖粒)

3回目 2022/5/23

※頓服との併用に効果があったようだ

- ・頭痛……………大改善 朝方の痛みの回数が大幅に減った。ある月に1~2回少し頭痛があり、頭痛薬を適用量の半分で1度だけ服用した
- ・便秘……………改善
- ・睡眠障害…中途覚醒がある(母親の様子が気になるからだと思う)
- ・健康診断…陣急性胸膜病変と診断され要観察 心電図のR-R型 ST上昇も要観察
- ・母親を施設へ入れていいのか葛藤しているが、母の趣味で埋め尽くされていた家の中を少しずつ自分の好みに変えていくのが楽しくて前向きになっている。

【The Boninghausen Repertory(TBR)】

※頭痛に精神も含め選択

- 1.#18 前頭部
- 2.#949 外側部分の締め付けられる(締め具や万力で締め付けられるような)痛み
- 3.#1687 朝に悪化
- 4.#1767 悲観を伴う無言の失意
- 5.#777 緊張している
- 6.#779 不安
- 7.#787 穏やか-物腰が軟らかい
- 8.#1754 悲しみ及び嘆き
- 9.#802 認識の欠如(無意識のうちに)

| 順位・レメディー名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|-----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① Ph-ac | 1 | 2 | 3 | 3 | 3 | 1 | 1 | 3 | 4 |
| ② Puls | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | 4 | 3 | 2 |
| ③ Verat | 2 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 3 | 2 |

随時：MT) サポート神経 + Hyos 6C + Manai-w 30C + Anac 6C + Dys-co 30C

朝：Nat-c. LM03

昼：Carc. LM04

夜：Puls. LM05

頓服：Bry. 30C + Nux-v. 30C のコンビネーション

【レメディー選択の根拠】

サポート神経・・・ 肝臓と胆嚢のサポートをしたので、神経にアプローチした

Hyos(ヒヨス)・・・ 辛いことを話せない 辛い内容を笑いながら話す

Manai-w(真名井神社の水)・・・ 自分のことを評価してほしい 不眠 過労 疲労

Anac(マーキングナッツ)・・・ 輪っかで締め付けるような頭痛

Dys-co(赤痢菌ノゾーズ)・・・ 神経・消化・心臓循環 自律神経 神経の緊張 前頭部
片頭痛

Nat-c(炭酸ナトリウム)・・・ 抗疥癬レメディー 一人でのいるのを好む 人に優しく犠牲的

Carc(乳癌ノゾーズ)・・・ 抑圧に抑圧を重ねている 人に迷惑をかけている感覚がある

Puls(セイヨウオキナグサ)・・・ 深い悲しみ 頭痛

【経過報告】

- ・全体的に改善してきたとのこと。頭痛はまだ時々あるが大丈夫とのこと。
- ・母親の介護に限界を感じ始めてきた。

【考察】

クライアントは一見穏やかな雰囲気ではあるが、表情や話し方から内に秘める怒りと悲しみが相当深いと感じた。

相談会の最初にいつも Far East Flower Essence の花カードから好きなお花を選んでいただいていた。3回の相談会でいつもヤマブキ(過去の悲しみを手放せない インナーチャイルドの問題)を選ばれていた。そのことからインナーチャイルドの問題が深いと推測し、インナーチャイルド癒しとフラワーエッセンスのヤマブキをすすめた。

主訴である頭痛は、離婚直後から発症しているもので、子供を抱えて大きな不安から発症したと推測する。元をたどれば、未熟児で生まれ、長い期間、母親から離され保育器にひとりで置かれた乳児期が不安の大元であり、その後、両親の離婚、自身の離婚と、常に抱えていた不安と悲しみが、怒りとなり頭痛という形で現れたと推測した。

3回目の相談会后、母親が誤嚥性肺炎で入院をして大変だった時に、初めて兄に「長男のくせに何もしないで！」と言えたとのこと。また母親の入院先の医師のあまりにも酷い態度に立腹し、その医師と喧嘩をして母親を退院させたとのこと。

1回目の相談会の時とは別人のように変わり驚いた。

ZEN ホメオパシーが、クライアントのバイタルフォース(自己免疫力・自己治癒力)に働きかけ、本来のクライアント自身を浮上させたのだと思う。

自分を労り肯定し受け入れることができるようになると、病気は治癒に向かっていくことを教えてくれたケースでした。